

Rhinoceros[®]
modeling tools for designers

Rhino8 for Windows
ラボラトリーライセンス インストール・運用ガイド



AppliCraft

株式会社アプリクラフト
2024.01.16

Rhino8 for Windows ラボラトリーライセンス インストール・運用ガイド

この度は Rhino8をご購入いただき、誠にありがとうございます。
Rhinoをインストールする前に、ラボラトリーライセンスの運用方法や
インストールの注意点について、以下よりご確認ください。

目次

運用について

ラボラトリーライセンスとは	3P
ラボラトリーライセンスの運用方法 Cloud Zoo チーム・Rhinoアカウントとは?	4P
ラボラトリーライセンスの運用方法 Zooとは?	6P
ラボラトリーライセンス 運用上の注意点	7P

インストールについて

ラボラトリーライセンス インストール前に	8P
ラボラトリーライセンス インストールガイド – Cloud Zoo チーム	
1 - Rhinoアカウントの作成 (管理者・使用者共通)	9P
2 - チームの作成 (管理者向け)	10P
3 - メンバーを招待する (管理者向け)	12P
4 - チームへのライセンス登録 (管理者向け)	13P
5 - 招待されたチームに参加する (使用者向け)	15P
6 - Rhinoをインストールし起動する (管理者・使用者共通)	17P
ラボラトリーライセンス インストールガイド – Zoo	
1 - Zoo をインストールする (管理用PCでの操作)	21P
2 - Zooにライセンスを登録する (管理者用PCでの操作)	
Zoo オンラインバリデーション	23P
Zoo オフラインバリデーション	27P
3 - Rhinoをインストールし起動する (使用者用PCでの操作)	31P
ラボラトリーライセンス 困った時は(各種お問い合わせ先)	35P

ラボラトリーライセンスとは

ラボラトリーライセンスは教育機関の教室・クラスで利用することを前提としたライセンスです。教室・クラスの管理者がライセンスキーを管理・運用します。

ラボラトリーライセンスは1つにつき、30ユーザーまで同時に使用することができるライセンスです。

1本のライセンスキーをバリデーションすると、30ユーザが使用できるように展開されるという特徴があります。ライセンスキーが30本あるのではなく、30ユーザまでが使える1つのライセンスキーです。

ラボラトリーライセンスの運用方法

Rhino商用版ライセンスの認証方法が4種類あるのに対し、ラボラトリーライセンスが認証できる方法はそのうち2つ、**Zoo** と **Cloud Zoo** です。

×	スタンドアロン	特定のPC内にライセンスを置き、そのPCのみで使用
×	Cloud Zoo 個人	インターネット上にライセンスを置き、自分だけがアクセスできる
○	Zoo	ローカルサーバにライセンスを置き、ネットワーク内の任意のPCから利用
○	Cloud Zoo チーム	インターネット上にチームを作成し、チームからアクセスを許された複数の人が利用

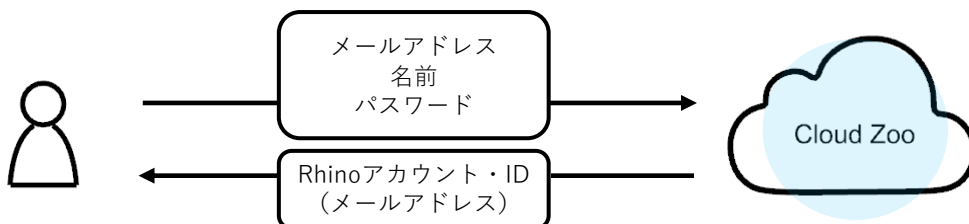
Zoo と Cloud Zoo の運用方法には以下のような違いがあります。導入する環境に合った認証方法を選択してください。ライセンス認証方法は後から変更する事もできます。また、どちらの運用方法も無償で、保守費用等はありません。

	Cloud Zoo チーム	Zoo
対象	外部とのインターネット接続が可能な教育機関	セキュリティが厳しいまたは、施設内サーバで管理したい教育機関
条件	Rhino起動時にインターネット接続が必要。	ローカルネットワーク内にZooサーバを配置する必要がある。
メリット	インターネットさえ接続できればどこからでも Rhino を起動することができる。	外部接続なしで、教育機関内で管理できる。
デメリット	アカウントにログインできなくなった場合（メールアドレスの無効化、アカウント情報の紛失等）ライセンスの削除や移動ができなくなる。	ライセンス利用時にはZooサーバが起動している必要がある。サーバに接続できない場合 Rhino を使用できない。（30日以内であればオフラインで使用できるチェックアウト設定が可能）

ラボラトリーライセンスの運用方法 Cloud Zoo チーム・Rhinoアカウントとは？

Cloud Zoo チームとは、クラウド上でライセンスを管理するサービスです。各種ファイルを保存するようなストレージサービスではありません。ご利用にはRhinoアカウントが必要となります。

Rhinoアカウントとは、Rhinoの開発元であるMcNeel社のサイトにユーザ情報を登録する事で、個人に発行される無償のIDです。



このRhinoアカウントにライセンスを紐づけて管理をする運用方法を“Cloud Zoo”と呼びます。ライセンスをクラウドで管理する事で、インターネットが繋がってさえいれば、場所を問わずにRhinoを起動できます。

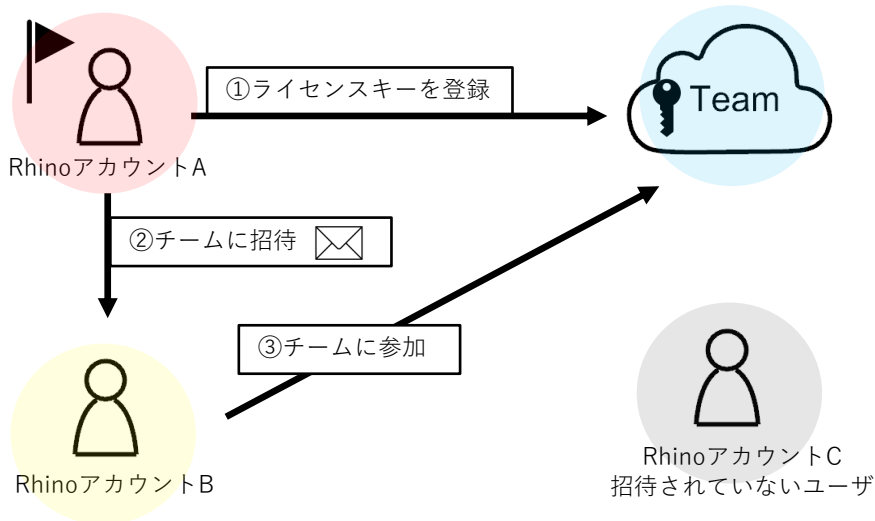
しかし、このアカウント情報やライセンスキーを直接生徒に伝えてしまうと、ライセンス情報の漏洩や、意図しない生徒の不正使用につながる可能性があります。それを防ぐために、Cloud Zoo チームでの管理が必要となります。

Cloud Zoo チーム管理とは、複数のRhinoアカウントを取りまとめチームを作成し、チームにライセンスを付与して管理する運用方法です。



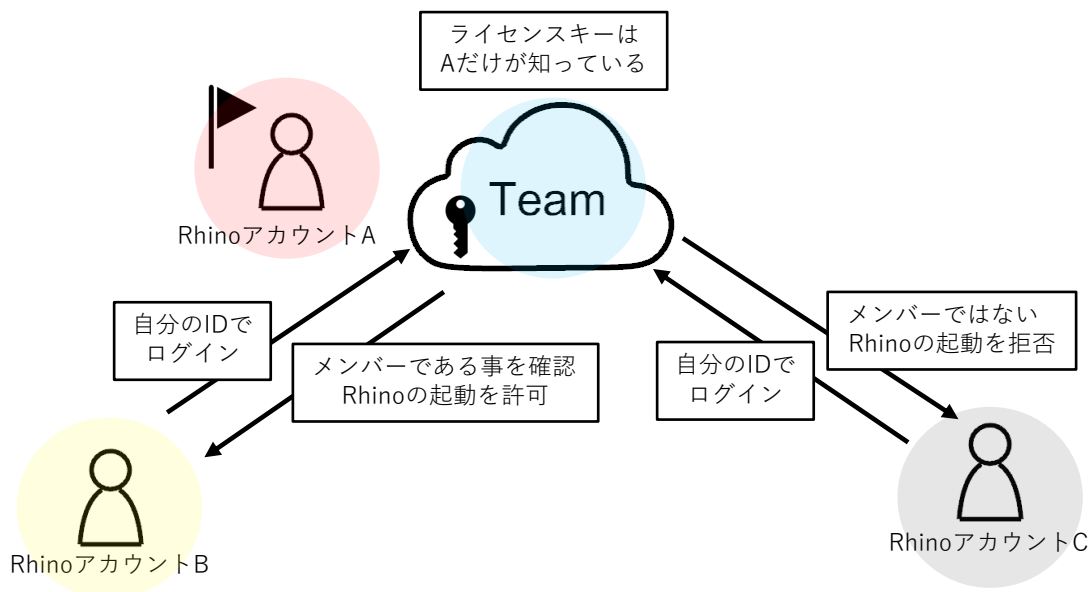
ライセンスを管理する代表者（Rhinoアカウント）を決め、代表者はチームを作成し、このチームにライセンスキーを紐付けます。

次に、ライセンスを共有させたい他のRhinoアカウントをチームに招待します。



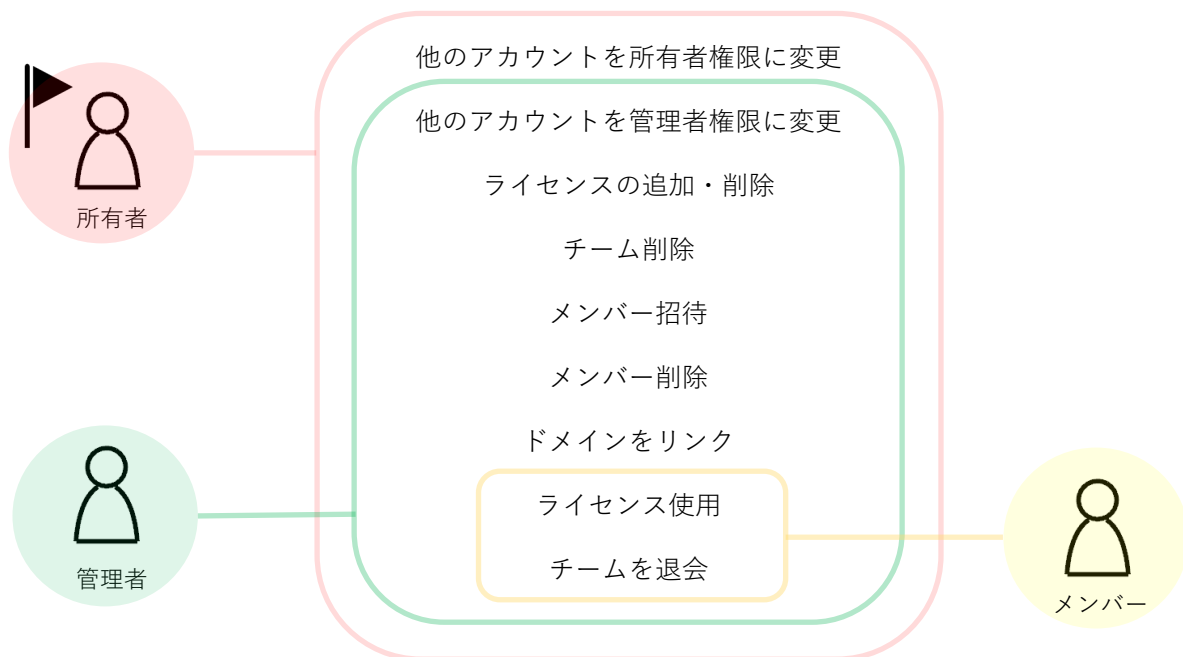
ラボラトリーライセンスの運用方法 Cloud Zoo チーム・Rhinoアカウントとは？

チームに参加したRhinoアカウントは、自分のIDでログインする事でチームの一員と見なされ、ライセンス情報を目にする事なくRhinoを起動できます。代表者以外のアカウントがライセンス情報を確認・編集することはできません。



Rhinoアカウントの権限

チームに所属するRhinoアカウントには、所有者・管理者・メンバーの3種類の権限があります。所有者はチームに対するすべての権限を持っています。管理者はライセンスの追加やメンバーの招待などチームを管理する権限を持ちます。メンバーはチームに変更を加える権限を持ちません。チームを作成する代表者を“所有者”に、他にもクラスを管理をする方がいる場合は“管理者”または“所有者”に、生徒を“メンバー”にして運用いただくのがお勧めです。



ラボラトリーライセンスの運用方法 Zooとは？

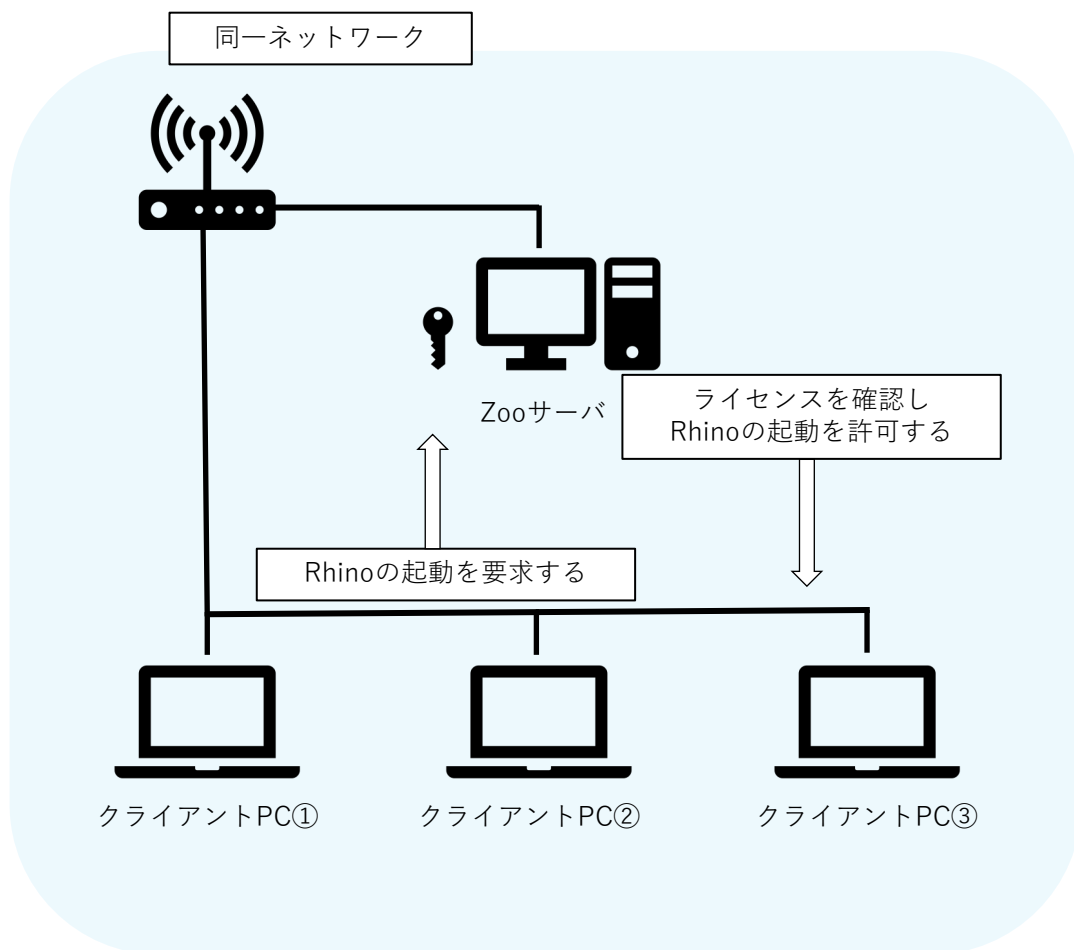
Zooとは、ライセンス管理ツール“Zoo”を用いて、ローカルネットワーク内でライセンスを管理する運用方法です。

ライセンス管理ツール“Zoo”とは、Rhinoのライセンスキーを管理するために無償で提供されているアプリケーションです。Zooにライセンスキーを登録する事で、同じローカルネットワーク内にある他のPCにライセンスを払い出すことができます。Zooのシステム要件は以下の通りです。

- ・.NET Framework 4.8をサポートするWindowsベースのシステム
- ・TCP/IP が構成されたネットワーク接続
- ・TCPポート80での通信

システム要件をもとにZooをインストールするPC(Zooサーバ)を選定します。
※ライセンスを利用する際はZooサービスが動いている必要がありますので、授業中に電源が入っていて、生徒が操作することのできない講師用のPCなどにZooをインストールする事をお勧めします。

インストールしたZooにライセンスキーを登録し、Rhino側ではZooサーバのIPアドレスを指定することで、生徒にライセンスキーを伝えることなくRhinoを起動できます。



ラボラトリーライセンス 運用上の注意点

ラボラトリーライセンスを含むRhinoのライセンスは1度に1か所でのみバリデーションが可能です。

ラボラトリーライセンスは30台が同時に使用できるライセンスですが、30回バリデーションできるライセンスではありません。2台目にバリデーションする際、既にライセンスが使用されています。というエラーが表示されます。

技術的にラボラトリーライセンスをスタンドアロンでバリデーションもできます。ただしスタンドアロンは特定のPCのみで使用する方法ですので、スタンドアロンでバリデーションすると、30台まで使用できるラボラトリーライセンスが1台のPCでしか使用できなくなってしまいます。

ですので、**ラボラトリーライセンスを運用する際は、Zoo、CloudZooチーム のどちらかに登録いただく必要があります。**

また複数回スタンドアロンでバリデーションを行い、悪質だと判断された場合は開発元からライセンスの停止処分が下されることがございます。必ずZooかCloudZooのチームをご利用ください。

ラボラトリーライセンス インストール前に

インストール作業開始前に以下をご確認ください。

ライセンスキーのご確認

ライセンス証書（紙）または電子メールにライセンスキー（RH で始まる英数字）を記載しています。ライセンスキーはライセンス認証の際に使用します。

Rhino8 システム要件

ハードウェア:

- 64ビットのIntelまたはAMDプロセッサ（ARMはサポートしていません。）
- 8GBのメモリ（RAM）またはそれ以上を推奨
- 5GBのディスク空き容量
- OpenGL 4.1対応のビデオカードを推奨
- 4GBビデオRAMまたはそれ以上を推奨
- スクロールホイールのある複数ボタンのマウスを推奨
- オプションで SpaceNavigator
- オプションで Boot Camp を搭載した Apple Intel ハードウェア
(Boot Camp は Apple Silicon M1 の Mac ではサポートされていません。)

対応 OS:

Windows 11、10

対応していないOS:

- Windows 8.1 およびそれ以前のもの
- Windows Server ダイレクトログイン
- Apple Silicon M1 の Mac での Boot Camp
- VMWare、Remote Desktop、Parallels などの仮想化システム
- Linux
- Microsoft SQ® 1 および 2 を含む ARM プロセッサム

インターネット接続:

- ダウンロード
- ライセンスのバリデーション
- Rhino アカウント使用時
 - ・ McNeel フォーラムのテクニカルサポート
 - ・ Cloud Zoo によるライセンス管理

Cloud Zoo チームを利用する方は [9Pのインストールガイド](#) へ
Zooを利用する方は [21Pのインストールガイド](#) へ 進んでください。

ラボラトリーライセンス インストールガイド – Cloud Zoo チーム

ここからはCloud Zoo チームで運用する場合のインストール手順を説明しています。
Zooでの設定をご希望の場合は、この手順をスキップして21Pへ進んでください。

Cloud Zoo チームの設定は以下のステップで進めていきます。

- 1 - Rhinoアカウントの設定 (管理者・使用者共通)
- 2 - チームの作成 (管理者向け)
- 3 - メンバーを招待する (管理者向け)
- 4 - チームへのライセンス登録 (管理者向け)
- 5 - 招待されたチームに参加する (使用者向け)
- 6 - Rhinoをインストールし起動する (管理者・使用者共通)

1 - Rhinoアカウントの作成 (管理者・使用者共通)

① <https://accounts.rhino3d.com/> にアクセスします。

② 「新規アカウントを作成」を選択します。



ラボラトリーライセンス インストールガイド – Cloud Zoo チーム

③ログイン方法を選択します。

任意のパスワードを設定してログインするか、Googleアカウントと連携してログインをするか選択できます。

Googleアカウントと連携させる場合は“Continue with Google”をクリックし、連携させるアカウントを選択します。

任意のパスワードを設定する場合は、必要項目を入力し“新規アカウントを作成”をクリックします。

アカウントを作成

 次を使用して続行: Google

または

名前	<input type="text" value="例: 雷野太郎"/>
メールアドレス	<input type="text" value="例: raino@mcneel.com"/>
電話番号	<input type="text" value="090-1234-5678"/>

新規アカウントを作成

2 - チームの作成 (管理者向け)

①Rhino アカウントにログインし、マイアカウントから「チーム」を選択します。

マイアカウント

メールアドレス	あなたのアカウントに関連付けるメールアドレスを追加、削除します。	➤
個人の情報	個人の情報を表示、変更します。	➤
ログイン	パスワード、リンクアカウント、その他の設定を変更します。	➤
チーム	あなたが所属するチームを表示、変更します。	➤
アクセス許可	アプリに指定されたアクセス許可を表示、変更します。	➤
ライセンス	あなたのアカウントに関連付けられたライセンスを表示、追加、削除します。	➤

[アカウントを削除...](#)

ラボラトリーライセンス インストールガイド – Cloud Zoo チーム

②チーム画面から「新規チーム」ボタンをクリックします。

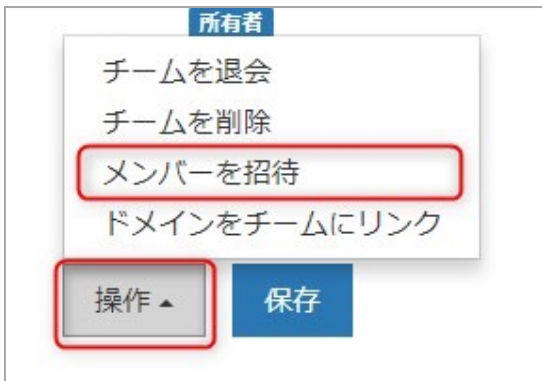


④チームが作成されました



3 - メンバーを招待する (管理者向け)

⑤同じ“チーム”画面の右下にある「操作」から、「メンバーを招待」を選択します



⑥招待状の言語を選択、招待メンバーのメールアドレスを入力し（複数入力可）、「送信」ボタンを押します。

A screenshot of a web form titled "メンバーを招待" (Invite Member) with a subtitle "テスト" (Test). The form contains three steps: 1. "招待状を送信する言語を選択してください。" (Select the language for the invitation letter.) with a dropdown menu showing "日本語" (Japanese). 2. "1つまたは複数のメールアドレスを下に入力またはペーストしてください。" (Enter one or more email addresses below.) with a text input field containing "例: taro@mcneel.com, jiro@mcneel.com". 3. "招待状の送信先のメールアドレスを確認してください。" (Check the email address of the invitation recipient.) At the bottom right, there is a blue "送信" (Send) button.

⑦手順⑥で入力したメールアドレスに、招待メールが送信されます。
招待メールを開封し、チームへ参加する手順については15P以降をご確認ください。

ラボラトリーライセンス インストールガイド – Cloud Zoo チーム

4 - チームへのライセンス登録 (管理者向け)

① マイアカウントから「ライセンス」を選択します。

マイアカウント

メールアドレス	あなたのアカウントに関連付けるメールアドレスを追加、削除します。	>
個人の情報	個人の情報を表示、変更します。	>
ログイン	パスワード、リンクアカウント、その他の設定を変更します。	>
チーム	あなたが所属するチームを表示、変更します。	>
アクセス許可	アプリに指定されたアクセス許可を表示、変更します。	>
ライセンス	あなたのアカウントに関連付けられたライセンスを表示、追加、削除します。	>

アカウントを削除...

② ライセンスを追加するチーム名をクリックします。

ライセンス

個人のライセンス

(自分)

チームのライセンス

McNeel

Rhino3Dサポート

Applicraft

test

テスト

新規チームを作成...

Rhinoアカウントを管理...

ラボラトリーライセンス インストールガイド – Cloud Zoo チーム

③ 「ライセンスを追加」 ボタンを押します。

ライセンス テスト

表示方法: **製品** 関連するライセンス

製品	プラットフォーム	現在の使用状況
製品がありません。		

チームを管理 ▾ **ライセンスを追加**

④ライセンスの追加場所がチーム名になっていることを確認、製品を選択（プラグインの場合もここで選択）、ライセンスキーを入力、「ライセンスを追加」ボタンをクリックします。複数ライセンスがある場合は、同様に登録を行います。

Cloud Zooにライセンスを追加

ライセンスの追加場所: テスト ▾

製品: Windows版Rhino 6 ▾

ライセンスキー:

ライセンスキーの場所

チームメンバーは、半定期的なインターネット接続があるデバイスではどれもこのライセンスを使用できるようになります。

ライセンスを追加

以上でチームへのライセンス登録は完了です。

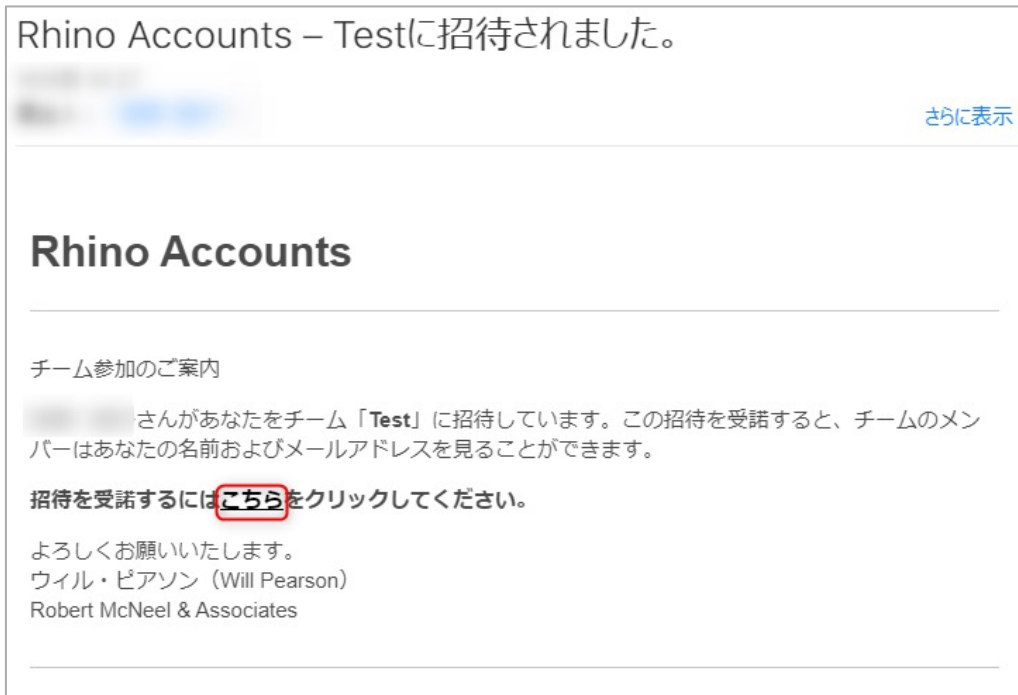
チーム削除時の注意：

チームにライセンスを登録したままの状態ですべてのチームを削除した場合、チームに登録してあるライセンスが使用できなくなります。

チームを削除する場合は、かならずライセンスを解除したのちに実行ください。

5 - 招待されたチームに参加する (使用者向け)

①チーム管理者から届いた招待メールを開封し、本文にある「こちら」をクリックします。



※メールが確認できない場合

招待メールはRhinoの開発元であるMcNeel社のメールアカウントから送信されます。メールの受信を確認できない場合は迷惑メールBoxも併せてご確認ください。

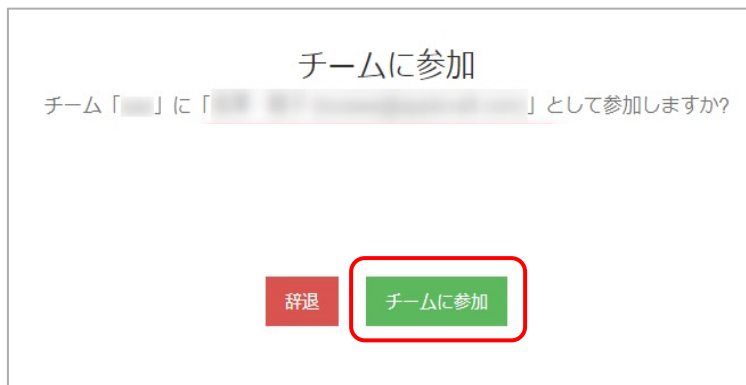
②ログイン画面が表示されたら、作成したRhinoアカウントでログインします。

※ログイン済みの場合、この画面はスキップされます。手順③へ進みます。



ラボラトリーライセンス インストールガイド – Cloud Zoo チーム

③ Rhinoアカウントログインページが表示される場合はログインします。ログインすると“チームに参加”ページが表示されますので、“チームに参加”ボタンをクリックします。



④“チームへの参加が正常に行われました”と表示されたらチームへの参加は完了です。

🟢 チームへの参加が正常に行われました。

※Rhinoアカウントを複数持っている場合

Rhinoアカウントを複数持っている方は、チームに参加しようとしているRhinoアカウントが正しいことを確認してください。違うアカウントだった場合は**“**ではありませんか? アカウントを切り替え”**のボタンをクリックして、所属する組織のメールアドレスを使ったRhinoアカウントにログインしなおします。



※ログインの際“Rhino アカウントが見つかりませんでした”と表示される場合

入力したメールアドレスに誤りがないか確認します。誤りがない場合、入力されたメールアドレスではまだRhinoアカウントが作成されていません。9Pを参考にアカウントを作成してください。

⚠️ Rhinoアカウントが見つかりませんでした。

※有効期限切れのエラーが表示される場合

招待メールのリンクは一定期間が経過すると無効化されます。エラーが表示された場合は、チーム管理者に連絡をとり招待メールを再送してもらいます。

⚠️ クリックされたリンクはもう有効ではありません。

6 - Rhinoをインストールし起動する (管理者・使用者共通)


①以下のリンクから最新のRhinoインストーラをダウンロードします。

<http://www.applicraft.com/rhino-download/>


②ダウンロードしたインストールプログラムをダブルクリックします。



rhino_ja-jp_8.0.23
304.09001.exe

③「今すぐインストール」を選択、または  をクリックします。



インストール先を指定したい場合、及び日本語以外の言語をインストールする場合には、 アイコンからインストールします。

【推奨】初期設定では、インストール先は“C:\Program Files\Rhino 8”となり、言語は日本語となります。

インストール先を変更する場合：インストールフォルダのところに指定したいフォルダを入力します。

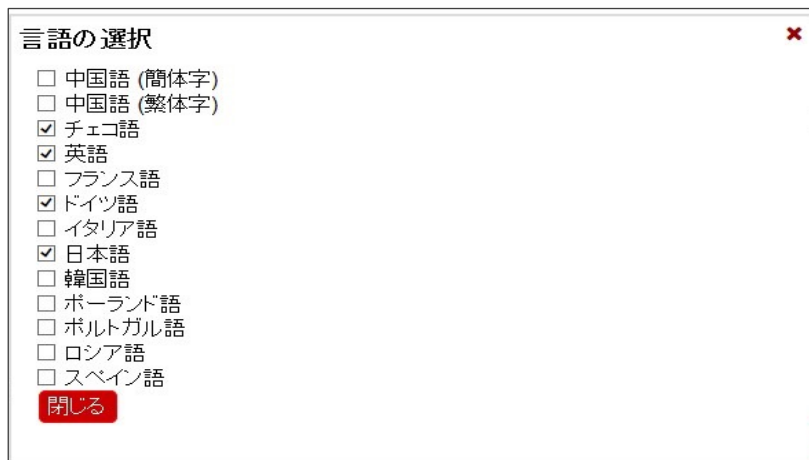
言語を追加する場合：「言語を選択…」で 13ヶ国語から任意の言語を複数追加できます。

ラボラトリーライセンス インストールガイド – Cloud Zoo チーム

 アイコンをクリックした場合の画面。



言語を選択・・・をクリックした場合の画面。



インストール中の画面。



④完了したら「閉じる」を選択します。



⑤インストール完了後、デスクトップにRhinoアイコンが表示されるので、アイコンをダブルクリックし、Rhino8 を起動します。

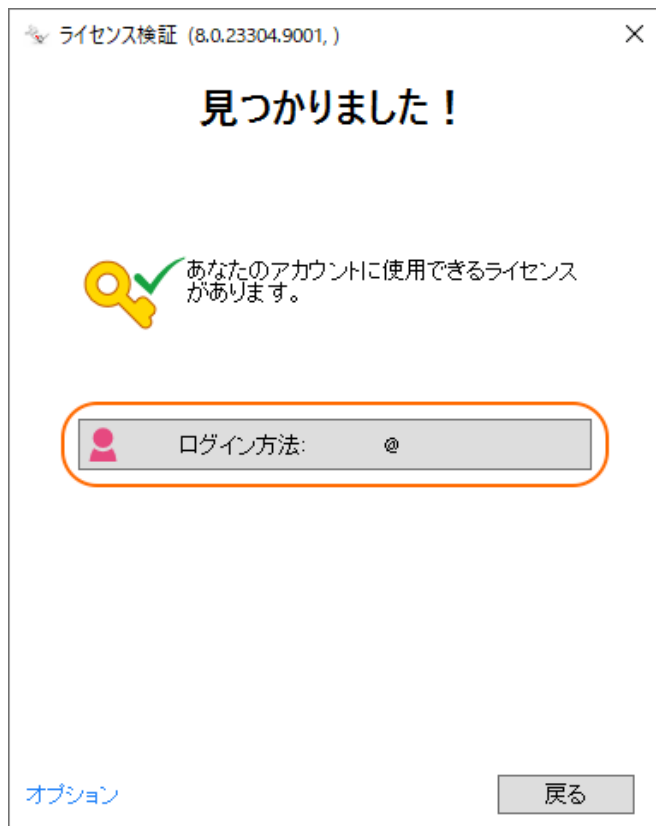
使用許諾契約書・プライバシーポリシーの**同意ボタンにチェック**を入れます。

Rhinoアカウントに設定した自身の**メールアドレスを入力し続行**をクリックします。



ラボラトリーライセンス インストールガイド – Cloud Zoo チーム

⑥「見つかりました！」の画面が表示されたら、ログイン方法のボタンをクリックします。



⑥ブラウザが開き、Rhinoアカウントでのログインを求められます。自身の設定したパスワードでログイン後、Rhinoの使用が可能になります。



ラボラトリーライセンス インストールガイド – Zoo

ここからは Zoo で運用する場合のインストール手順を説明しています。

Cloud Zoo での設定をご希望の場合は、この手順をスキップして9Pへ進んでください。

Zoo の設定は以下のステップで進めていきます。

- 1 – Zoo をインストールする (管理用PCでの操作)
- 2 – Zooにライセンスを登録する (管理者用PCでの操作)
- 3 – Rhinoをインストールする (使用者用PCでの操作)

Zooをインストールする前に

Zoo は、Rhino と同じネットワーク上に所属する「Windows PC1 台」に設定します。

インストール前に以下をご確認ください。

※ ファイアウォールで TCP ポート 80 が開かれていることを確認してください。

※ Microsoft .NET Framework 4.8が必要です。

※ライセンスを利用する際はZooサービスが動いている必要がありますので、授業中に電源が入っていて、生徒が操作することのできない講師用のPCなどにZooをインストールする事をお勧めします。

※各種インストーラをダウンロードする際Rhinoアカウントへのログインが必要になります。アカウントの作成方法は9Pの[1-Rhinoアカウントの作成]を参考ください。

1 - Zoo をインストールする (管理用PCでの操作)

Zoo8をインストールします。以前のバージョンのZooをインストール済みの場合も、Zooを終了した上で以下の手順で最新バージョンのZooをインストールしてください。既に最新バージョンのZooがインストールされている場合、この手順はスキップして**2 – Zooにライセンスを登録する**へ進みます。

①Zoo8 のインストールプログラムをダウンロードします。

<https://www.rhino3d.com/download/zoo/latest/>

こちらのページで、メールアドレスを入力した後、「次へ」をクリックするとダウンロードが開始されます。(インストールプログラムは、PC に保存してください)

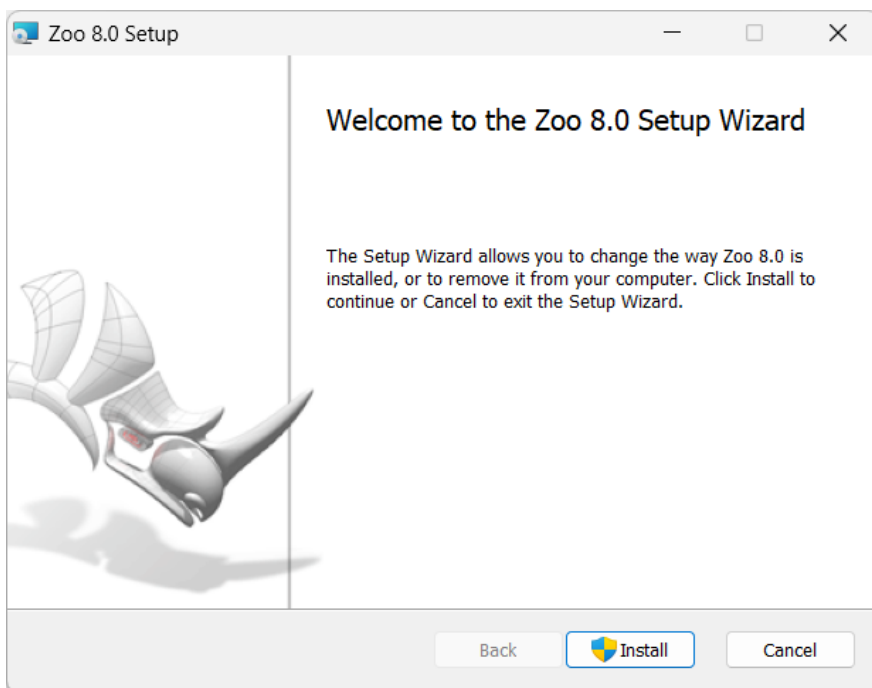
②ダウンロードしたファイルをダブルクリックして、インストールプログラムを起動します。



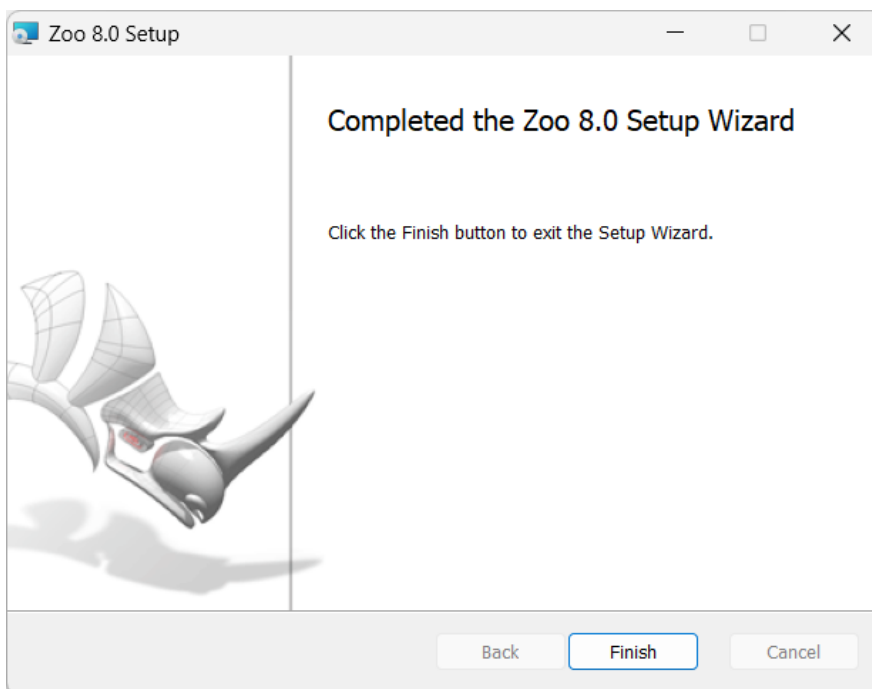
zoo_8.0.23304.030
01.msi

ラボラトリーライセンス インストールガイド – Zoo

③Install をクリックし、Zoo8 のインストールを開始します。



④インストールが完了したら Finish をクリックします。



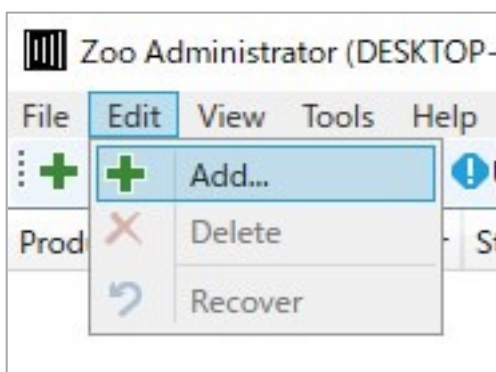
これで Zoo8 がインストールされました。

ラボラトリーライセンス インストールガイド – Zoo

2 - Zooにライセンスを登録する オンラインバリデーション (管理者用PCでの操作)

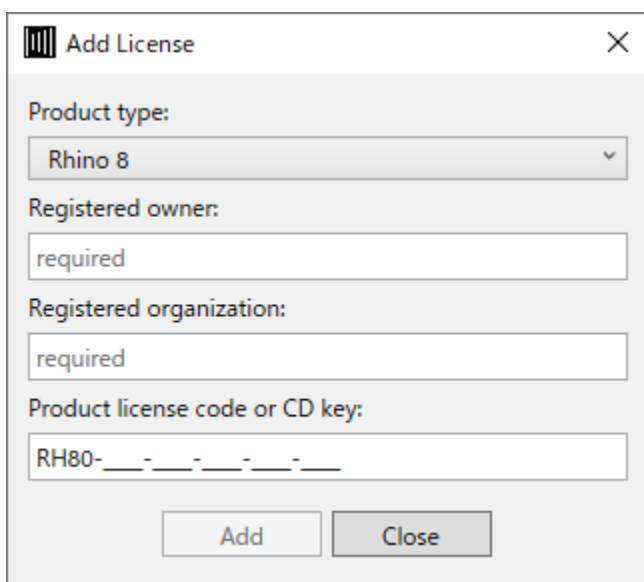
①Zoo8 を起動します。Windows の [スタート] から、「Zoo8.0」フォルダ内の「Zoo 8」をクリックする事で起動できます。

②Zoo8 のEdit メニュー>Add を実行します。



③Add License 画面が表示されます。

ドロップダウンリストより、ライセンスを登録する製品を選択し、名前、組織名、ライセンスキーを入力し、[Add] をクリックします。

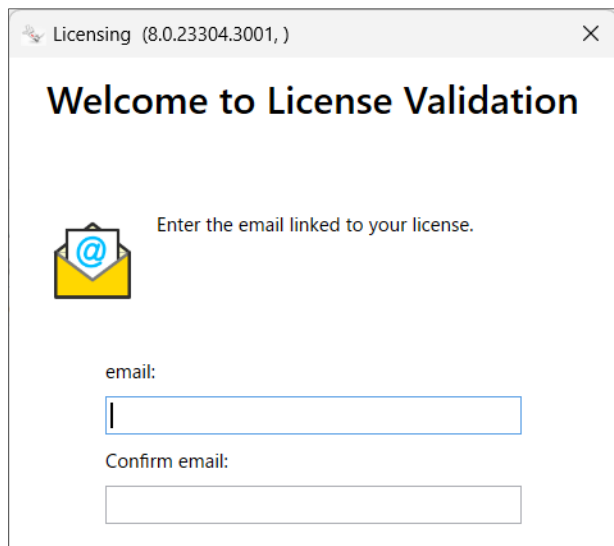


※バリデーションには必ず購入した企業・団体・教育機関の情報をご利用ください。
※プラグイン製品の場合も同様に選択・追加します。

ラボラトリーライセンス インストールガイド – Zoo


④メールアドレスの入力画面が表示されたら、購入した企業・団体・教育機関の管理用メールアドレスを入力します。

※このアドレスはZooの移設や、再度バリデーションを行う際に入力を求められます。



Licensing (8.0.23304.3001,) X

Welcome to License Validation

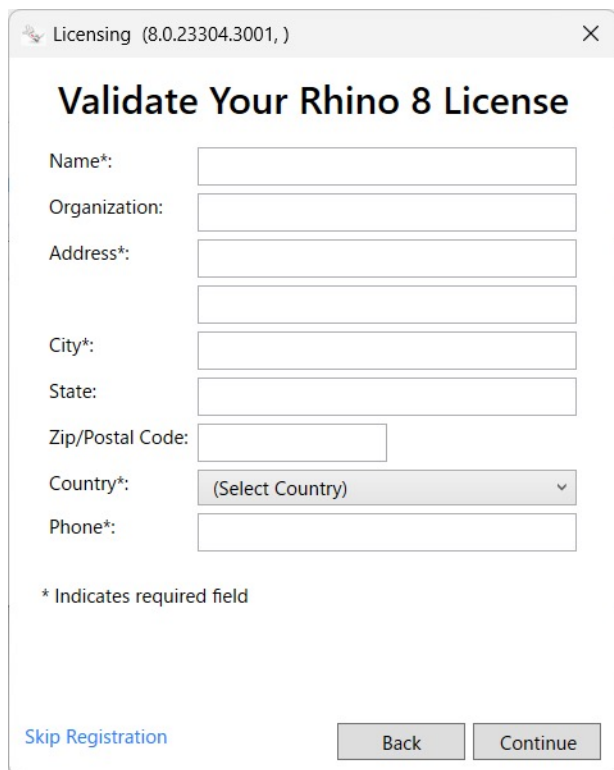
 Enter the email linked to your license.

email:

Confirm email:

※**オフライン環境**、またはセキュリティで一部WEBページへのアクセスが制限されている場合、メールアドレス入力後に“**サーバへの接続エラー**”が表示されます。その場合は**27P オフラインバリデーションの項目に進んでください**。

⑤ユーザ情報を入力してContinueで次に進みます。



Licensing (8.0.23304.3001,) X

Validate Your Rhino 8 License

Name*:

Organization:

Address*:

City*:

State:

Zip/Postal Code:

Country*: (Select Country) ▾

Phone*:

* Indicates required field

[Skip Registration](#)

ラボラトリーライセンス インストールガイド – Zoo

⑥ 「About You」の画面が表示されたらContinueで次に進みます。

Licensing

About You

Profession - Choose One -

Areas of Interest:

- Aircraft/Aerospace
- Architectural Design
- Art/Sculpture
- Automotive/Transportation Design
- CAM/Manufacturing
- Civil Engineering
- Dental
- Exhibit/Display Design
- FEA, CFD, Analysis
- Footwear Design
- Furniture Design
- Games Design
- Graphics/Web Design
- Industrial Design
- Jewelry Design
- Marine Design
- Mechanical Design
- Mold Design
- Multimedia
- Rapid Prototyping
- Rendering/Animation

Back Continue

Licensing

About You

What related software tools do you use?

Check all that apply:

- 3D Studio Max
- AeroHydro
- Alias Studio
- Alibre
- ALPHACAM
- ArchiCAD
- ArtCAM
- AutoCAD or Clone
- Autodesk Inventor
- Autoship
- Blender
- BobCAD
- Brazil
- Bryce
- CADKEY
- CATIA
- Cimatron
- Cinema 4D
- DelCAM
- EdgeCAM
- FastShip/FastYacht

Back Continue

※ 「Enter Previous Version License Key」の画面が表示された場合

アップグレードライセンスの場合、アップグレード元となる以前の製品のライセンスキーを確認されます。この画面が表示されたらRhino6以前のライセンスキーを入力します。アップグレード元ライセンスの認証に利用したメールアドレスと異なる場合エラーが表示される場合があります。同じメールアドレスをご利用ください。

Licensing

Enter Previous Version License Key

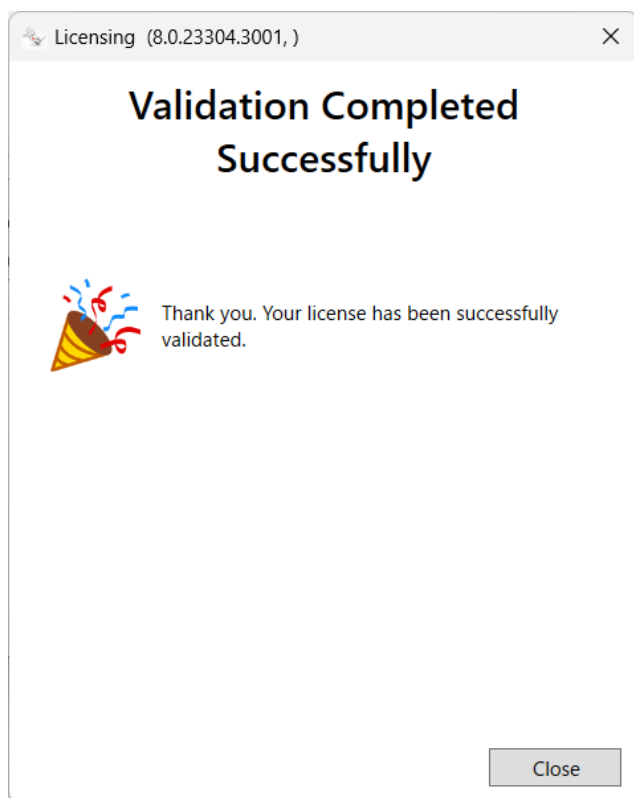
Enter a license key from a previous version of Rhino to prove upgrade eligibility:

License key:

Continue

ラボラトリーライセンス インストールガイド – Zoo

⑦“Successfully”が表示されたらライセンスの追加は完了です。“Close”ボタンをクリックし画面を終了します。



これでZooへのライセンス登録は完了です。

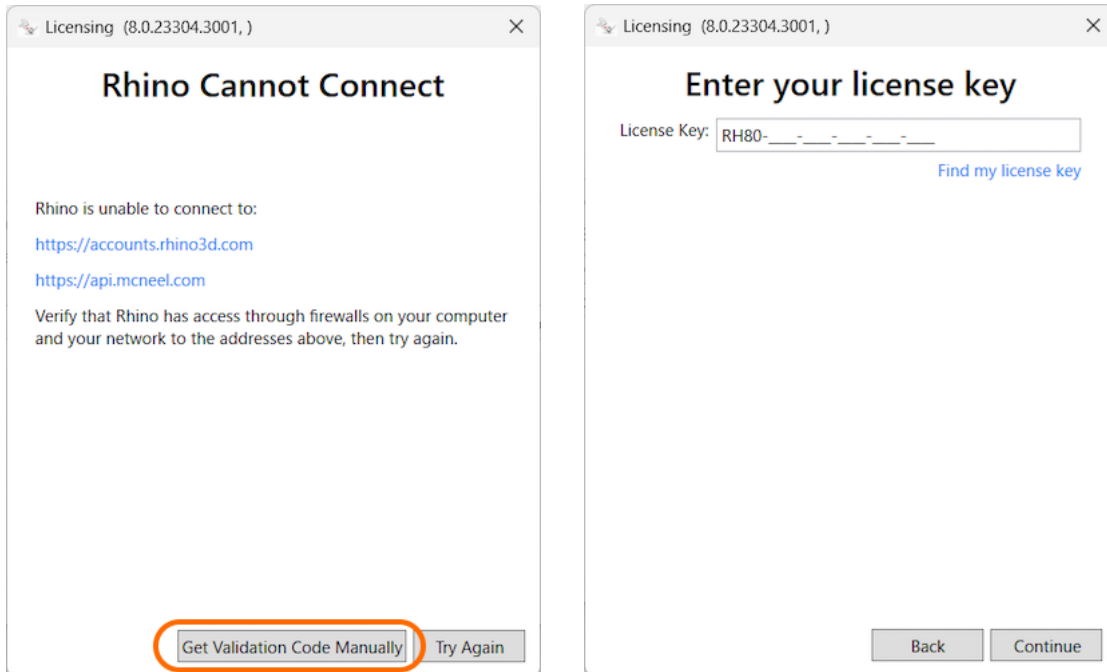
ラボラトリーライセンス インストールガイド – Zoo

Zoo オフラインバリデーション - 1 -

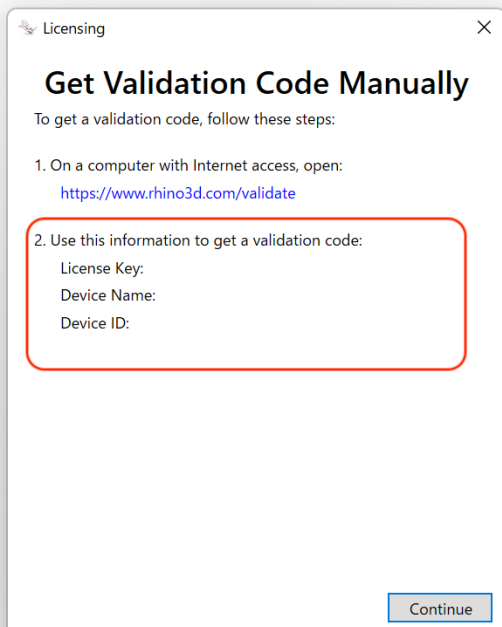
オフライン環境下にあるPCでバリデーションを試した場合、メールアドレス入力後にサーバへの接続エラーが表示されます。

このエラーが表示された場合は以下の手順に沿ってオフラインバリデーションを試します。**オンラインでのバリデーションが成功している方は、この手順をスキップして31Pの3 – Rhinoをインストールするに進みます。**

①接続エラー画面内の“Get Validation Code Manually”をクリックします。ライセンスキーを入力し“continue”で次に進み“Get Validation Code Manually”を再度クリックします。



②表示されたデバイス情報を控えます。控え終わったらContinueをクリックします。



ラボラトリーライセンス インストールガイド – Zoo

Zoo オフラインバリデーション - 2 -

③ネットワークにつながっている端末から以下の URL へアクセスします。

<https://www.rhino3d.com/validate/>

④表示された画面に沿って、メールアドレスとライセンスキーを入力し“次へ”をクリックします。

メールアドレスとライセンスキーを入力:

E-mail:	<input type="text"/>
<small>弊社のニュースレターの購読リストに登録されます。登録を解除されたい場合、または個人情報の取り扱いについては、プライバシーポリシーをご覧ください。</small>	
ライセンスキー:	<input type="text"/>

次へ >

⑤手順②で確認したデバイス情報を入力し、次に進みます。

メールアドレスとライセンスキーを入力:

E-mail:	<input type="text"/>
<small>弊社のニュースレターの購読リストに登録されます。登録を解除されたい場合、または個人情報の取り扱いについては、プライバシーポリシーをご覧ください。</small>	
ライセンスキー:	<input type="text" value="RH70"/>
デバイス情報を入力:	
デバイス名:	<input type="text"/>
デバイスID:	<input type="text"/>

次へ >

※アップグレードライセンスだった場合、ここでアップグレード元のライセンスキーを確認される場合があります。その場合はRhino7以前のライセンスキーを入力してください。前回と同じメールアドレスをバリデーションにご利用ください。

ライセンスキー:	<input type="text" value="RH70-"/>
Rhinoを以前のバージョンからアップグレードします。以前のバージョンのライセンスを下に入力してください:	
以前のバージョンのラ	<input type="text"/>
イセンスキー:	

Zoo オフラインバリデーション - 3 -

⑥ユーザ情報を入力して次に進みます。

ユーザー登録

個人の情報:

名前:	<input type="text" value="名前を入力してください。"/>
組織:	<input type="text"/>
住所:	<input type="text" value="市区郡とそれ以降を入力してください。"/>
	<input type="text" value="アパート、ビル名等"/>
都道府県:	<input type="text" value="都道府県を入力してください。"/>
地域:	<input type="text"/>
国:	<input type="text" value="(国を選択)"/>
郵便番号:	<input type="text"/>
電話番号:	<input type="text"/>

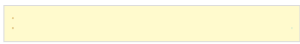
⑦表示されたバリデーションコード（黄色部分）を控えます。

バリデーション

まだ完了していません。

お使いのコンピュータでバリデーションコードを入力する必要があります。

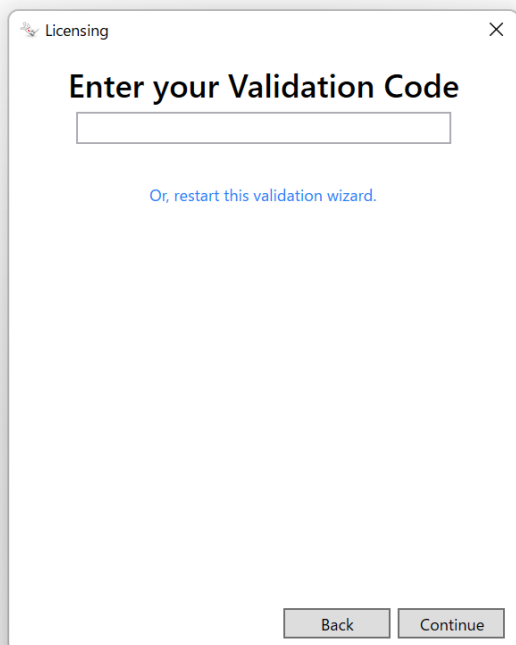
製品バリデーションを完了するには:

1. このページを印刷するか、バリデーションコードを書き留めます:

2. Rhinoを起動します。
3. バリデーションウィザードにバリデーションコードを入力して、次へをクリックします。
注記: このバリデーションコードは、24時間後期限が切れます。

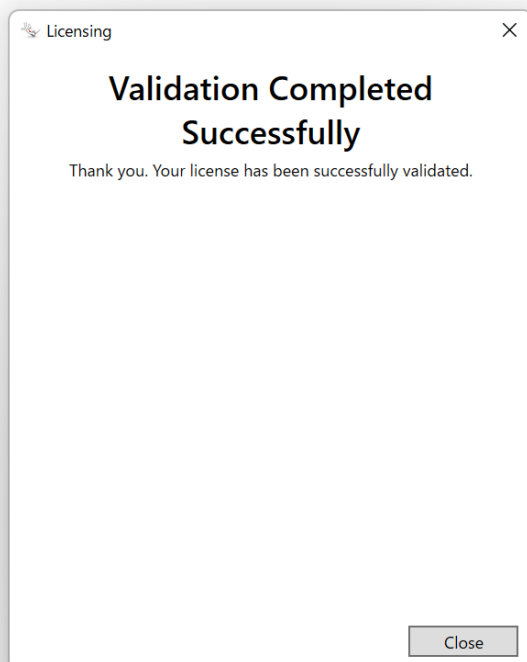
ラボラトリーライセンス インストールガイド – Zoo

Zoo オフラインバリデーション - 4 -

⑧ZooがインストールされているPCに戻り、手順⑦のバリデーションコードを入力します。



これでオフラインでのバリデーションは完了です。



ラボラトリーライセンス インストールガイド – Zoo

3 – Rhinoをインストールする (使用者用PCでの操作)

①以下のリンクから最新のRhinoインストーラをダウンロードします。
<http://www.applicraft.com/rhino-download/>


②ダウンロードしたインストールプログラムをダブルクリックします。



rhino_ja-jp_8.0.23
304.09001.exe

③「今すぐインストール」を選択、または  をクリックします。



インストール先を指定したい場合、及び日本語以外の言語をインストールする場合には、 アイコンからインストールします。

【推奨】初期設定では、インストール先は“C:¥Program Files¥Rhino 8”となり、言語は日本語となります。

インストール先を変更する場合：インストールフォルダのところに指定したいフォルダを入力します。

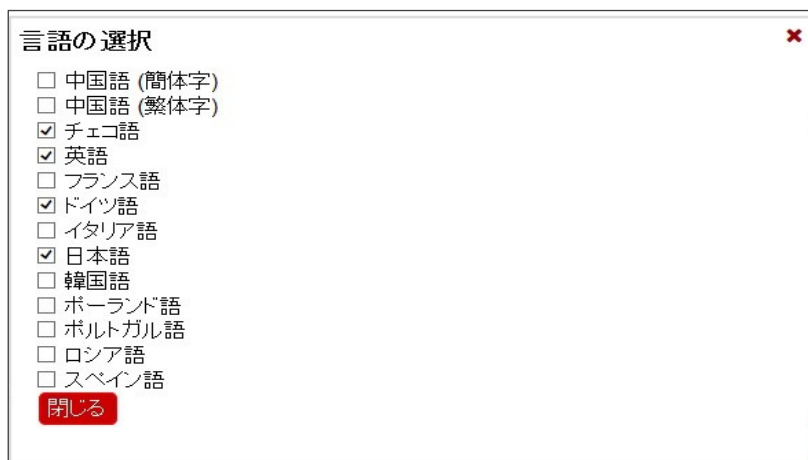
言語を追加する場合：「言語を選択…」で 13 ヶ国語から任意の言語を複数追加できます。

ラボラトリーライセンス インストールガイド – Zoo

 アイコンをクリックした場合の画面。



言語を選択・・・をクリックした場合の画面。



インストール中の画面。



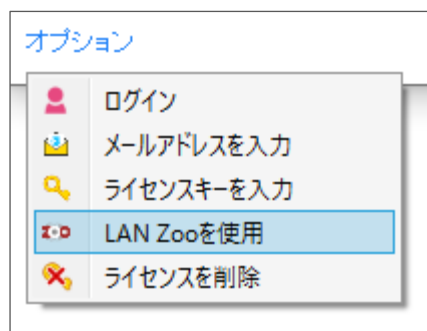
ラボラトリーライセンス インストールガイド – Zoo

④完了したら「閉じる」を選択します。



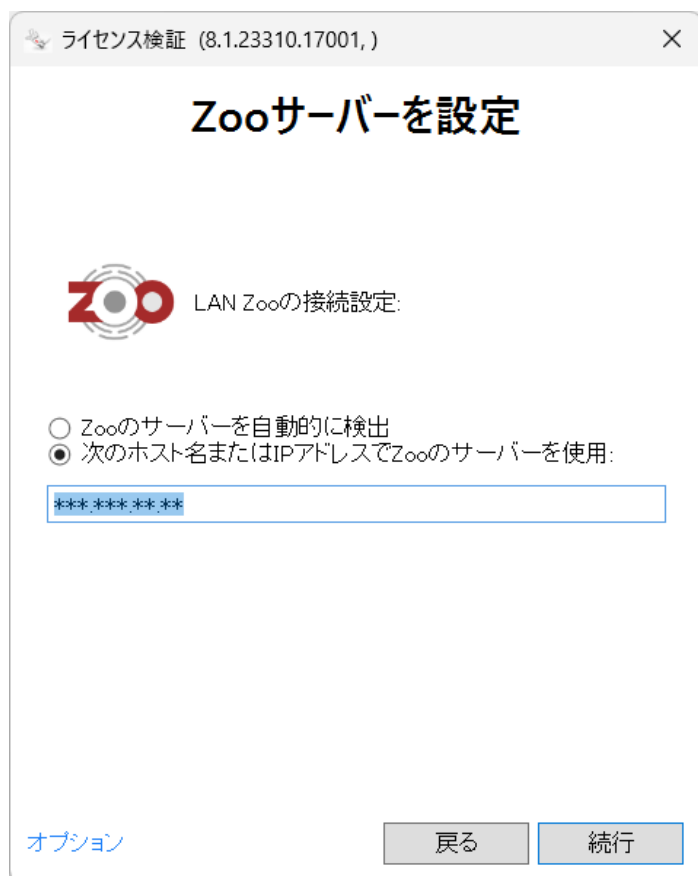
⑤インストール完了後、デスクトップにRhinoアイコンが表示されるので、アイコンをダブルクリックし、Rhino を起動します。

使用許諾契約書・プライバシーポリシーの**同意ボタンにチェック**を入れます。
左下の**オプション**をクリックし、**LAN Zooを使用**をクリックします。



ラボラトリーライセンス インストールガイド – Zoo

⑥Zoo がインストールされている「コンピューター名」または「IP アドレス」を入力し、続行をクリックします。



接続が完了すると Rhinoの使用が可能になります。

ラボラトリーライセンス - 困った時は(各種お問い合わせ先) -

Rhinoceros に関するお問い合わせ・ご要望などは E-mail にて承ります。

メールアドレス

技術的なお問い合わせ	support@rhino3d.co.jp
その他のお問い合わせ	info@rhino3d.co.jp

ホームページ

Rhinoceros よくある質問	https://www.applicraft.com/ganda/rhinoceros/
Rhino 開発元ウィキ	https://wiki.mcneel.com/ja/homepage
アプリクラフトに関して	https://www.applicraft.com/